

## 第10回がん検診に関する検討会議事次第

日時:平成17年7月6日(水)

14:00～16:00

場所:経済産業省別館8階827号室

### 1. 開 会

### 2. 議 題

(1) 大腸がん検診についてのヒアリング

(2) その他

### 3. 閉 会

資料1:事務局資料 大腸がん検診の現状等

資料2:斎藤委員資料 大腸がん検診の精密検査や対象年齢について

#### [ヒアリング資料]

資料3:関原参考人資料 大腸がん患者の立場から

資料4:島田参考人資料 先進的な取組をしている団体の立場から

資料5:佐野参考人資料 大腸内視鏡の専門家の立場から

第10回がん検診に関する検討会  
関係者ヒアリング

1. 大腸がん患者の立場から

○関原 健夫 代表取締役社長

日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー  
株式会社

2. 先進的な取組をしている団体の立場から

○島田 剛延 副所長

宮城県対がん協会 がん検診センター

3. 大腸内視鏡の専門家の立場から

○佐野 寧 医長

国立がんセンター東病院 内視鏡部 消化器内科 内視鏡室

## 資料1：大腸がん検診の現状等

(事務局提出資料)

## 大腸がん検診 論点整理(案)

### 1. 大腸がん検診の現状について

- ・ 老人保健事業に基づくがん検診において、大腸がん検診は受診率が全国平均で18.1%であり、他のがん検診同様低い状況にある。
- ・ 特に精検受診率については、全国平均で55.6%と他のがん検診に比べても低くがんが適切に発見されない可能性がある。

### 2. 大腸がん検診の方法について

- ・ 便潜血検査は死亡率減少効果の観点から有効性が示されている。
- ・ 検診の頻度は毎年行うことの有効性が示されている。
- ・ 検診の対象年齢については、現在、40歳以上の人を対象であるが、40歳代についてはがん発見率がやや低く、効率が良くないという指摘もある。

### 3. 精密検査の方法について

- ・ 全大腸内視鏡が他の方法に比べ、感度が高いことが示唆されている。
- ・ 市町村によっては、全大腸内視鏡検査がすべての要精検者に実施可能でない場合もある。
- ・ 全大腸内視鏡検査での偶発事故などの不利益にも注意が必要である。

### 4. 検診受診率及び精検受診率の向上策について

- ・ 検診受診率及び精検受診率の向上は事業評価(精度管理)の観点からも重要な課題である。
- ・ 先進的な取組を行っている自治体の経験を参考にすべき。

### 5. 事業評価(精度管理)の取組について

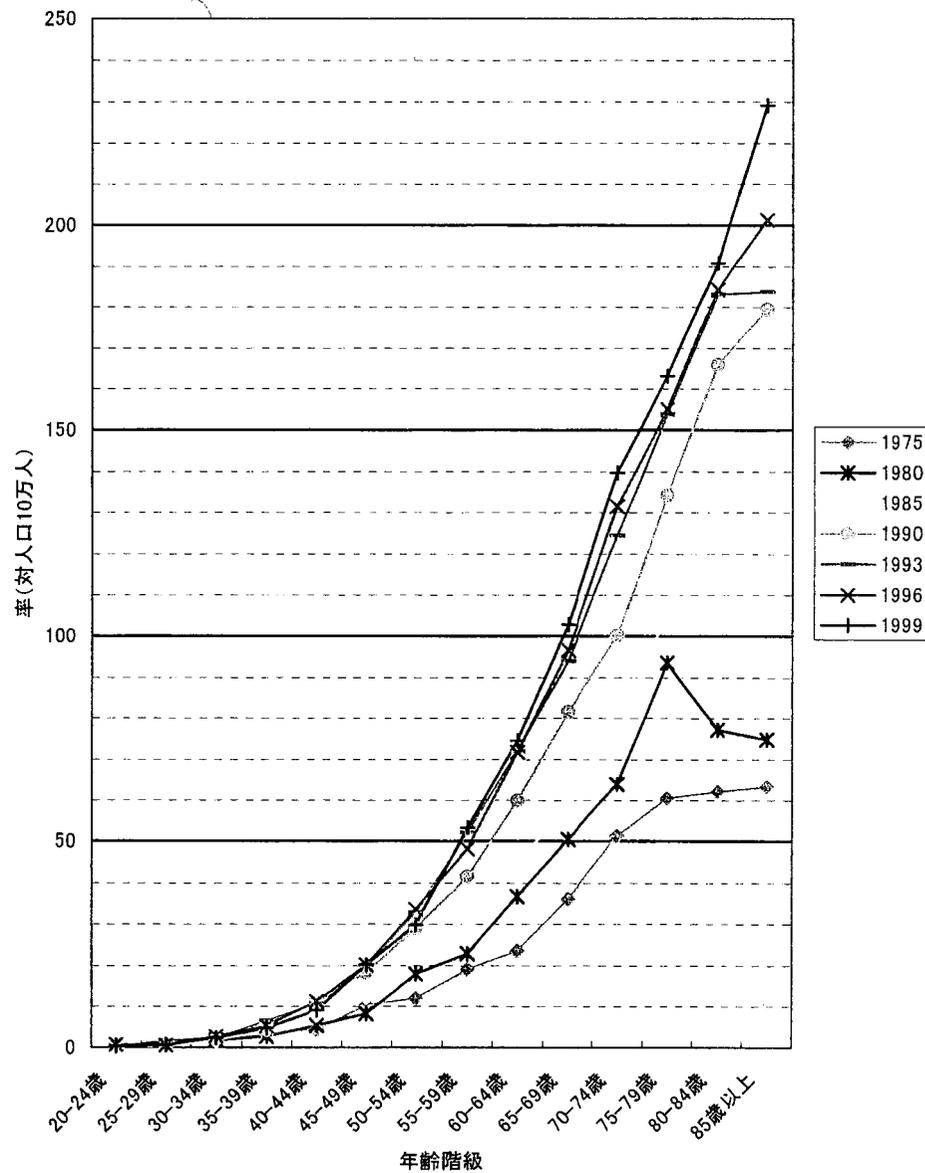
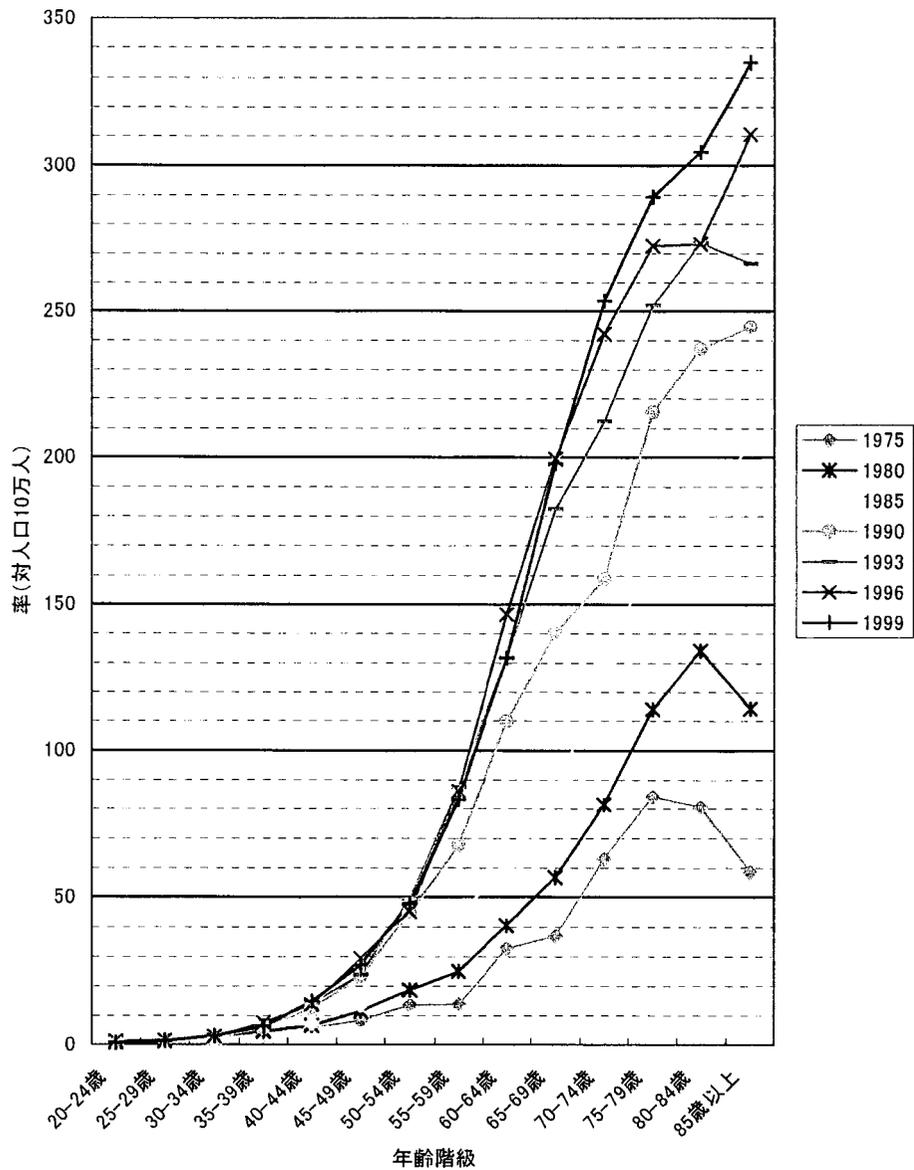
- ・ 要精検率、精検受診率、がん発見率などといったアウトカム評価も重要である。
- ・ 検診結果の数値を比較する際には、対象年齢を限定して市町村ごとに比較可能とするための工夫が必要である。

### 6. その他

大腸がん 罹患率(男)

大腸がん 罹患率(女)

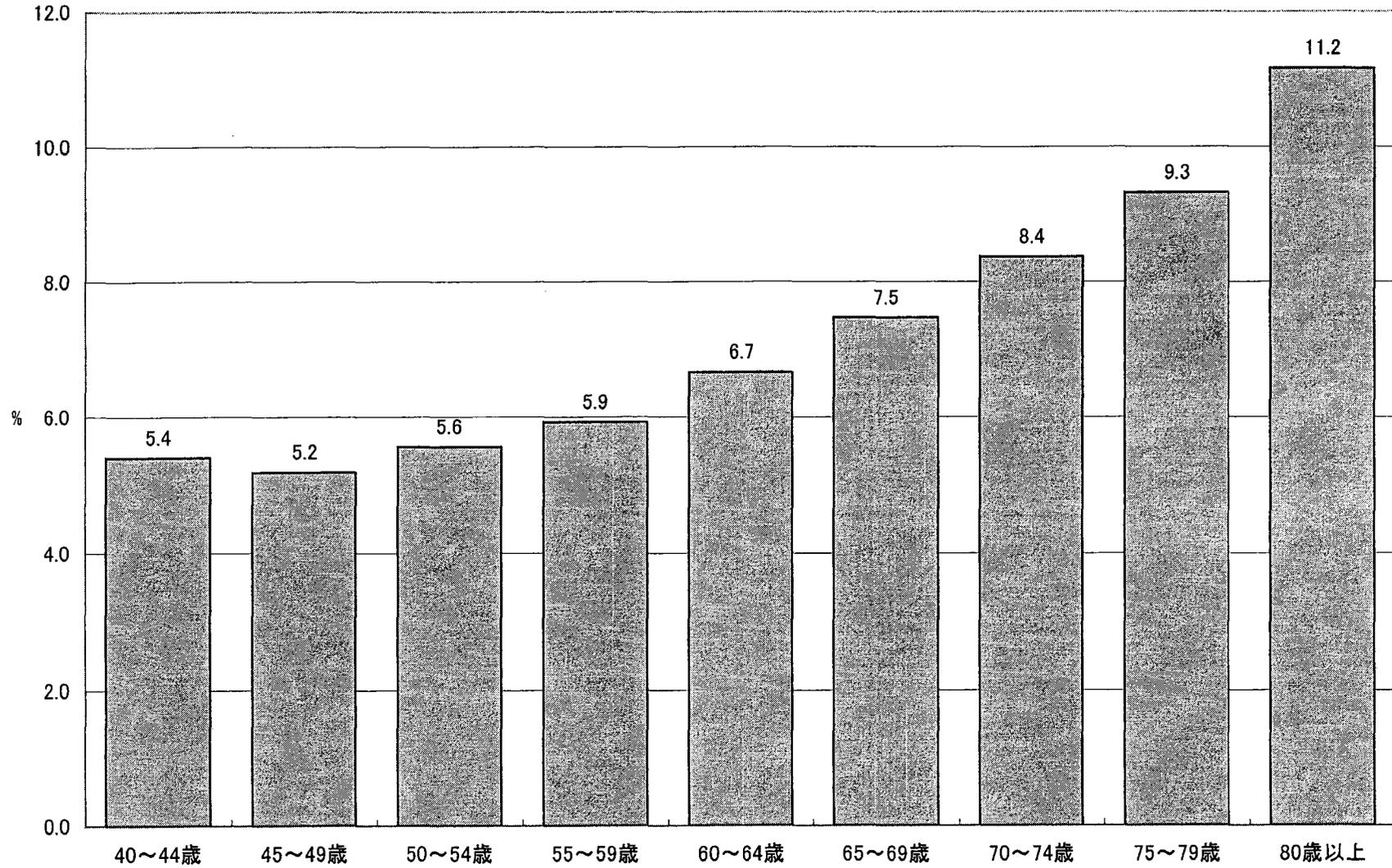
8



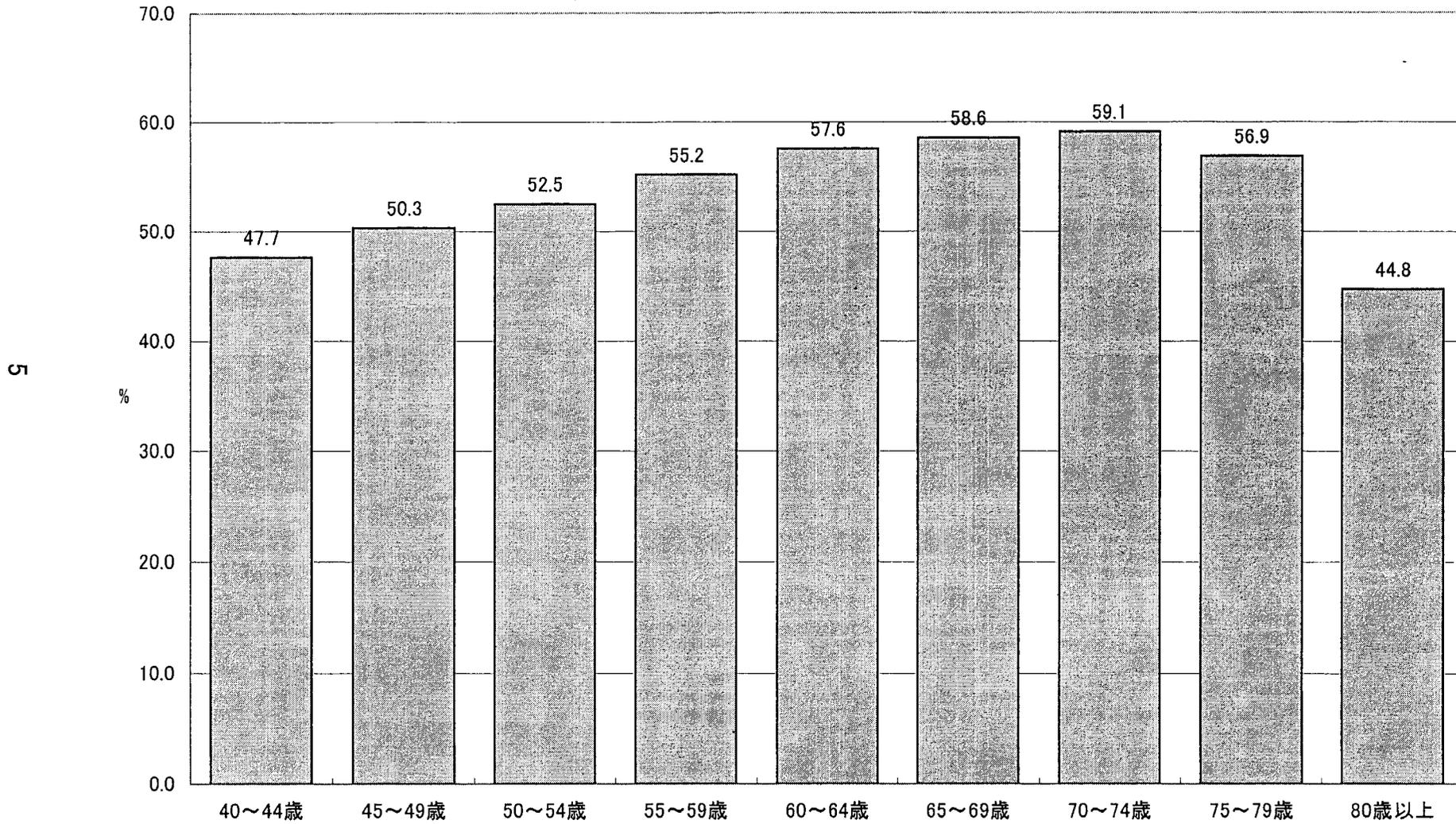
「地域がん登録」研究班 推計値

# 大腸がん検診 要精検率（年齢群別）

平成15年度 地域保健・老人保健事業報告



大腸がん検診 精検受診率（年齢群別）  
平成15年度 地域保健・老人保健事業報告



# 大腸がん検診 がん発見率（年齢群別）

平成15年度 地域保健・老人保健事業報告

